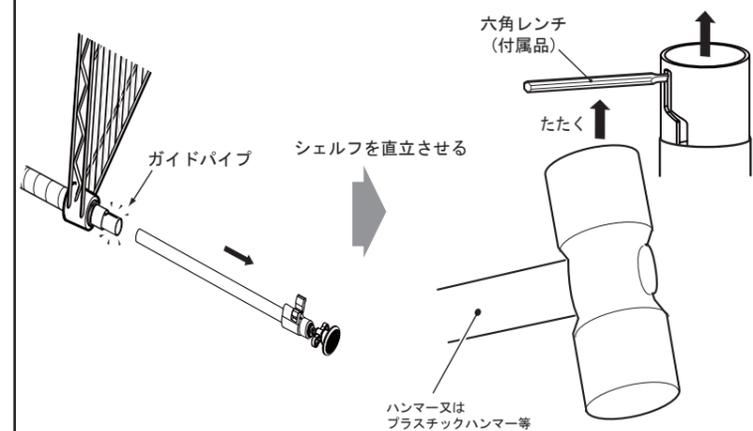


ガイドパイプが外れてしまった場合

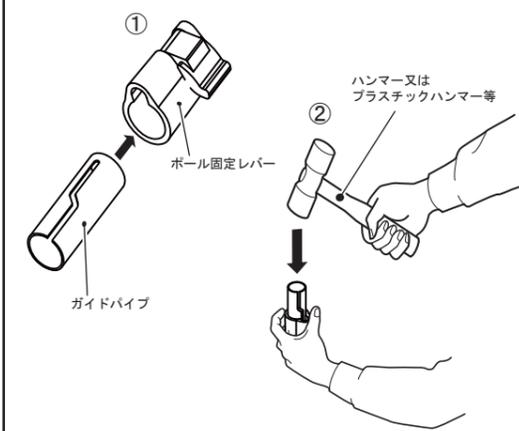
1 シェルフを直立させ、ガイドパイプを抜き取る



シェルフを直立させ、六角レンチの-(マイナス)側をガイドパイプの隙間へ平行に押し当て、図の方向からハンマーでたたいてポールから抜き取ります。

注意 手や指をはさまない様、ご注意ください。

2 ガイドパイプを組み付ける



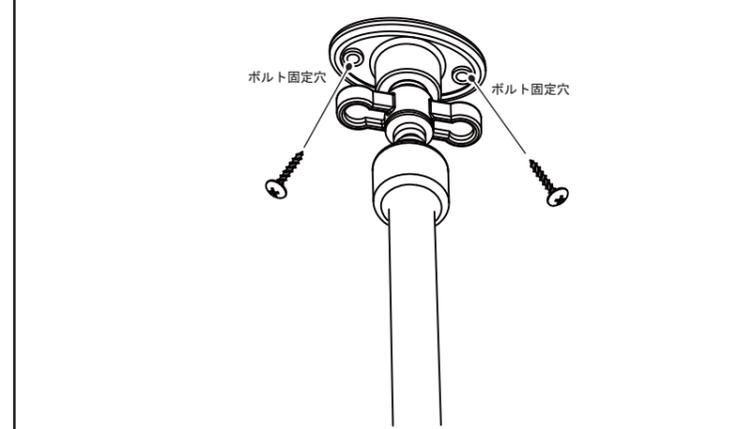
- ① セーフティポールからポール固定レバーを取り外し、図の方向からガイドパイプを軽く挿入してください。
- ② ガイドパイプを図の方向からハンマーで軽くたたき、ポール固定レバーに差し込みます。

その後、本体へ取り付けて作業完了です。

- 注意**
- ・手や指をはさまない様、ご注意ください。
 - ・過剰なたたきこみ、強打は製品破損につながる恐れがあります。
 - ・床面に置いて安定させる場合は、床面保護のため保護材等を使用して作業してください。

より安定させたい場合

1 円形トップ部をビスで固定する



必要な場合のみ、別途ビスをご用意いただき固定してください。穴径は、φ4.5mmです。

注意 作業の際は、十分ご注意ください。

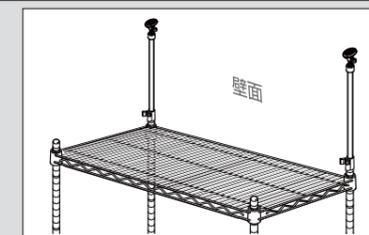
ERECTA

取扱説明書

セーフティポール

2025.08

この度は、エレクター製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書を良くお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項は必ずお守りください。



ご使用前に必ずお読みください

- 組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。
- 組み立ては、この説明書をよくお読みになり必ず手順に従って正しく組み立ててください。誤った組み立ては破損やケガの原因となります。
- 下記の「警告」「注意」をよくお読みいただき、理解し、遵守していただくようお願いいたします。
- 本製品は弊社製品専用となります。他社製品を併用した組み付けはおやめください。
- この説明書は必要ときにすぐ取り出せるように保管してください。



警告

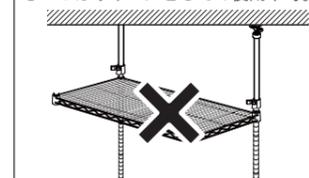
- 本製品は奥行き狭いシェルフ、全高の高いシェルフに設置の安定感を与える転倒防止金具です。耐震基準に基く地震転倒防止器具ではございません。
- 設置の際はあらかじめ天井部の強度を確認し、なるべく梁や機の入っている場所に設置してください。吊り天井など下からの圧力に弱い天井への設置はお控えください。天井部を破損する恐れがあります。
- 本製品をポール単体・突っ張り用途での使用、または1本での使用は避け、必ず1台のシェルフに2本1組でご使用ください。背面に壁面がある場合はシェルフの壁側に2本1組、背面に壁面がない場合には1台のシェルフに4本1組でご使用ください。
- 取り付け後、定期的に天井と円形トップ部の間に隙間がないか確認し、隙間が生じていれば隙間調整ネジで調整してください。床面が畳などの場合は、定期的に隙間調整ネジで隙間の調整を行ってください。
- 本製品の機能保持のため、ポールに150mm以上差し込まれた状態で使用してください。150mm以上差し込まれていないと、ポールおよび本製品を破損する可能性があります。使用可能な最大伸長はポール上部より930mmになります。
- 本製品はどんな場合でも完全にシェルフの転倒を防止するものではありません。天井、シェルフ、床の状態によって十分な効果を得られない場合がございます。
- 商品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。
- 当社製品のS字金具等で連結されたシェルフ、またキャスターを使用しているシェルフには本製品の効果は得られません。



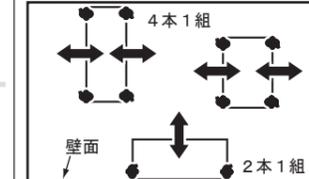
注意

- 組み立て時、製品の隙間に指などはさまない様、また部品の突起などで怪我をしないようご注意ください。
- 組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。
- 取り付け後、定期的に隙間の確認及び調整を行ってください。

●つっぱりポールとしての使用不可。

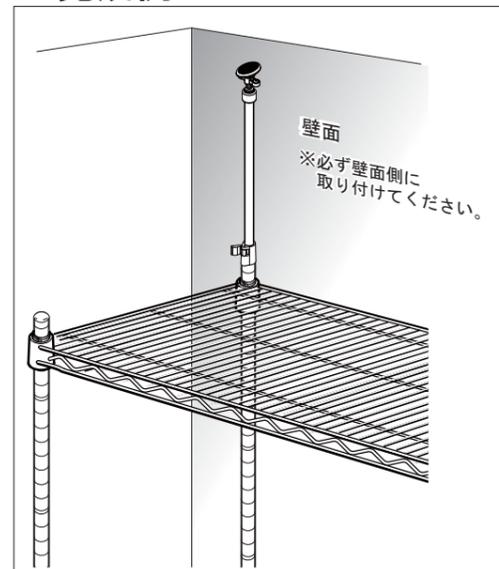


●壁面がない場合4本使用

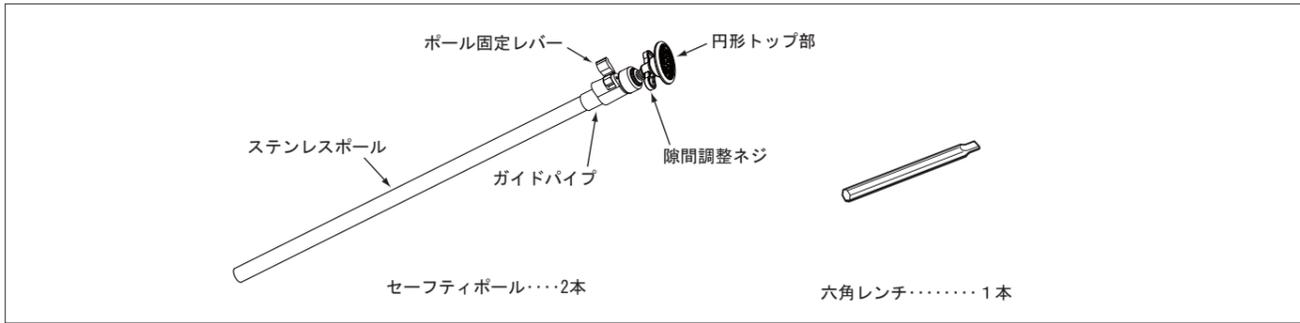


●2本1組

完成例



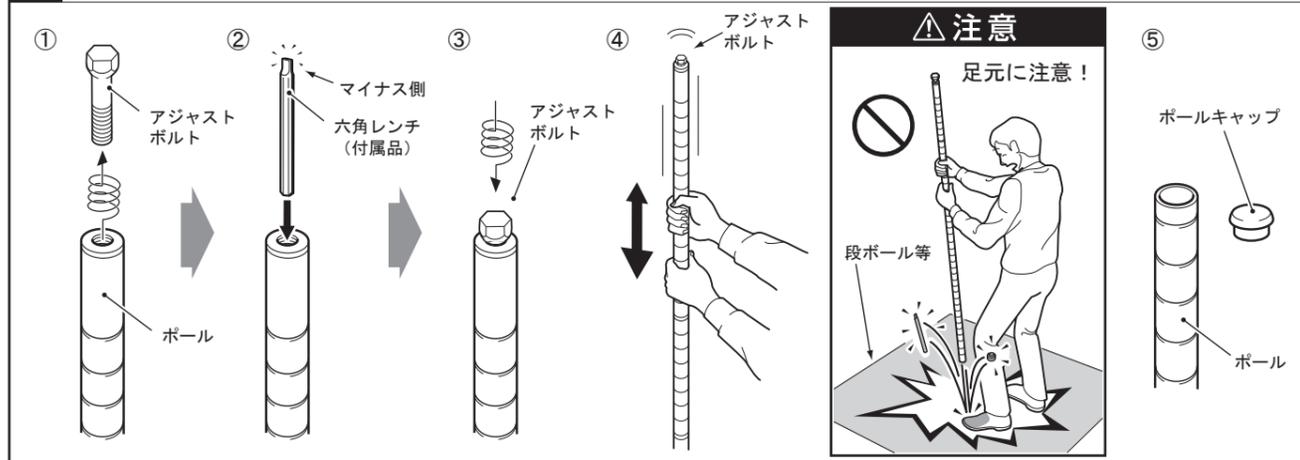
■ 構成部品



■ 組み立てかた

- 注意**
- 製品や床を傷めないよう組み立て取り外しの際は、段ボール、布等を敷いて十分なスペースのある場所で行ってください。特に天井面にご注意ください。
 - 作業を行うときは、指等をはさみ込んでケガをしないようご注意ください。

1 ポールキャップを外す……（シェルフと同時に組み立てる場合）



セーフティポールを取り付けるポールの、最上部に付いているポールキャップを外します。

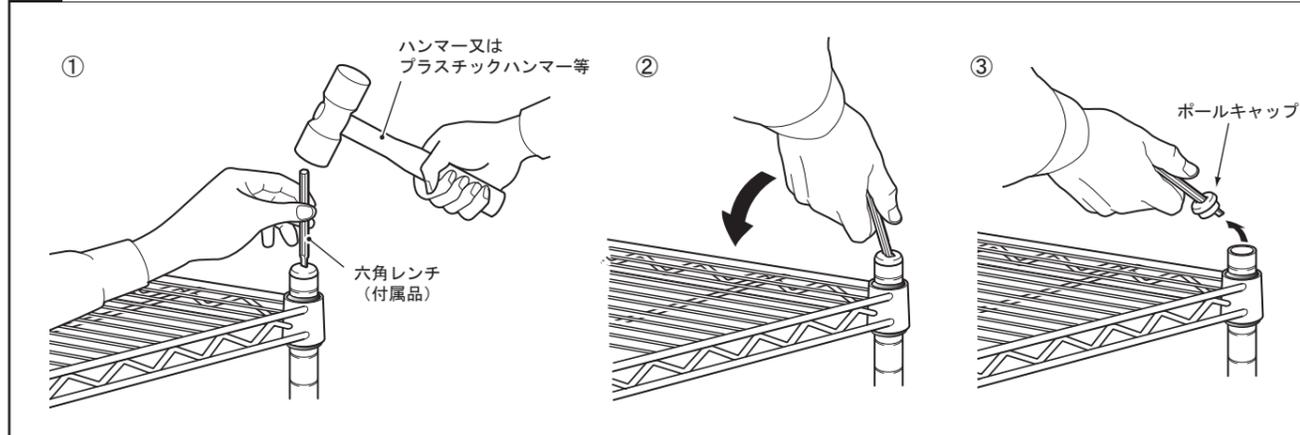
- ① アジャストボルトをポールから外します。
- ② 六角レンチをポールに入れます。この時、-（マイナス側）になっている方を上に入れてください。
- ③ アジャストボルトを締めます。

④ ポールを上下にゆすってポールキャップを床に落とします。

注意 ポールキャップが外れると六角レンチも飛び出してしまうので、床面を保護し足元に十分注意してください。

- ⑤ ポールキャップは再使用の時まで保管してください。シェルフを組み立てます。各種、製品取扱説明書を参照してください。ただし、最上段の棚は一段下げて取り付けてください。コーナーリング上部にキズを付ける場合があります。2へ進みます。

1 ポールキャップを外す……（既存のシェルフに取り付ける場合）



セーフティポールを取り付けるポールの、最上部に付いているポールキャップを外します。

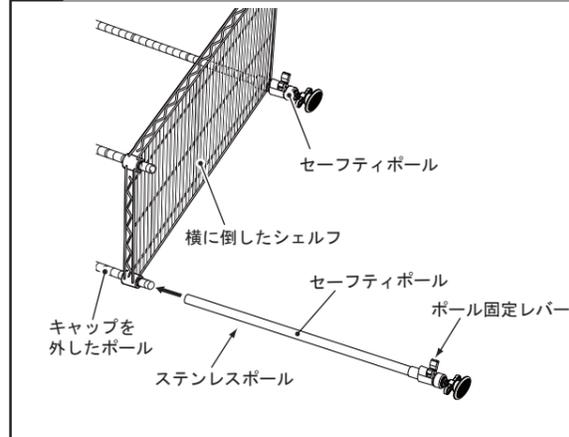
- ① ハンマー又はプラスチックハンマー等で六角レンチの-（マイナス）側を下にして、ポールキャップの中央近辺に差し込みます。深く入りすぎますとポール部に六角レンチが当たりますので、1cm位入った所まで六角レンチを移動させてください。
- ② 図の様に六角レンチを斜めにしてポールキャップを外します。

③ 取り外したポールキャップは穴が開いてしまうので、再使用はできません。最上段の棚は一段下げて取り付け直してください。シェルフを一段下げて取り付けることで、ポール固定レバーの向きを自在に変更でき、コーナーリング上部にキズを付けることもありません。シェルフの取り外しと取り付けは各種、取扱説明書を参照してください。

2へ進みます。

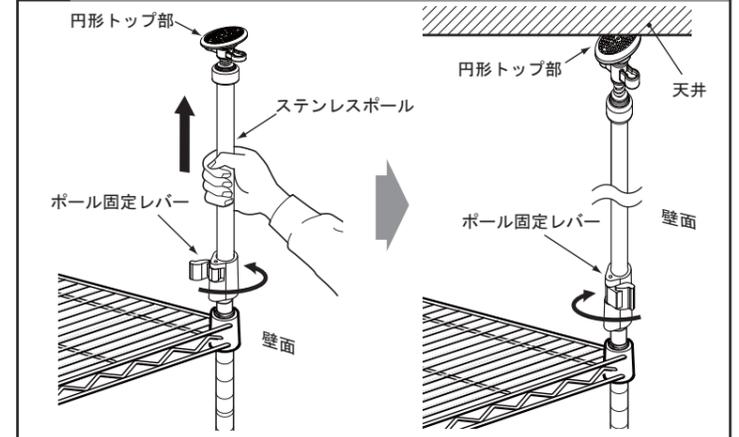
- 注意** ポール固定レバーは、セーフティポールの伸縮時以外は常に締め付けておいてください。床の破損や重大な事故につながる恐れがあります。

2 セーフティポールをポールに差し込む



- ① ポール固定レバーをゆるめ、最上部まで移動させてください。その後、再度固定してください。
- ② シェルフを横に倒して、1でポールキャップを外したポールにセーフティポールのステンレスポールを差し込みます。（完成例を参照）

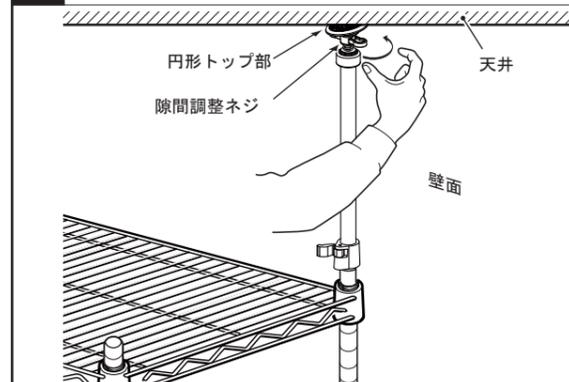
3 セーフティポールを天井まで伸ばして固定する



シェルフを起こして設置位置に戻します。ポール固定レバーをゆるめ、円形トップ部が天井と隙間がなく軽く接する位置まで伸ばします。その後、ポール固定レバーを引き、固定してください。

注意 天井まで伸ばした時、天井へ勢いよく接触させると天井・製品が破損する恐れがあります。

4 隙間調整ネジで微調整する

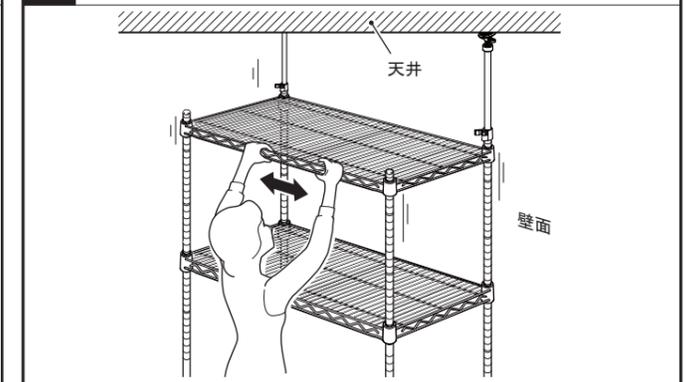


3で円形トップ部が天井に軽く接している状態から、隙間調整ネジで確実に固定します。

注意 天井まで伸ばした時、シェルフのポール内に最低150mm入っていないと転倒防止機能が果たせない可能性があります。ポールの最大伸長はポール上部より930mmです。

注意 踏み台などによって作業する際は、路面状況をご確認のうえ周辺の安全を確保してください。転倒・滑落、落下には十分注意してください。

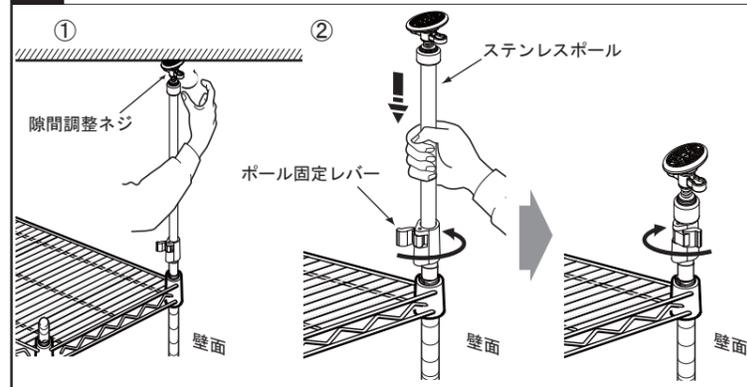
5 組み立ての確認



組み立て後、シェルフ全体を軽くゆすり、組み付けの安全を確認してください。

■ 取り外しかた

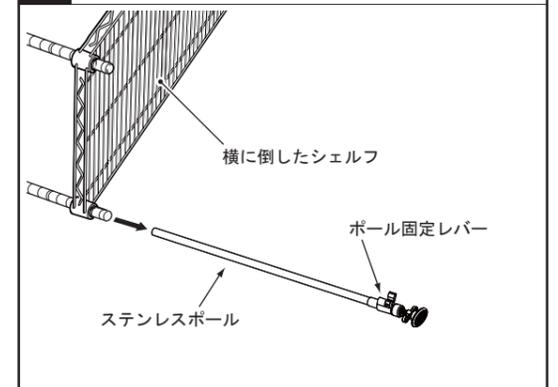
1 手で押さえて隙間調整ネジ、固定レバーの順でゆるめる



- ① 必ず先に隙間調整ネジをゆるめてください。
- ② ステンレスポールを手で押さえながら、ポール固定レバーをゆるめてセーフティポールを縮めます。縮めた時点でズレ落ちないように必ずポール固定レバーを引き、固定してください。

注意 セーフティポールを縮める際に押さえないと、落ちてきた円形トップ部に指などをはさみ込んで重大な事故につながる恐れがあります。十分注意してください。

2 固定を確認してから取り外す



必ず積載物をおろしてからシェルフを横に倒し、ステンレスポールが固定されていることを確認し、ポールからセーフティポールを外します。

注意 ポール固定レバーは、セーフティポールの伸縮時以外は常に固定してください。床の破損や重大な事故につながる恐れがあります。